

平成 27 年度の介護報酬改定の影響について

介護報酬の減額改定で収益の減が心配されたが、介護保険事業収益全体では 3% 増であった。

たくま荘利用率が 26 年度 93.96% から 27 年度 95.30% に上昇したこと、平均介護度が 3.15 から 3.42 と上がったことにより報酬減をカバーできたと思われる。

たくま荘ショートステイについては、利用者数が 26 年度より若干減（5,232 人→5,206 人）となり事業収益も減となった。

たくまデイサービス利用者については、7,107 人から 7,345 人と延 238 人増加し、ほぼ昨年度並みの収益を確保できた。

大浜デイサービスは、利用者が延 5,572 人から 6,042 人と大幅増となり 380 万円ほどの収益増となった。

居宅支援事業所（ケアマネージャー）でも利用者が延 215 件増加し、収益の改善が見られた。

訪問介護（ヘルパー事業）では、年々利用が減っており年間 150 万円ほどの収入減となった。

介護報酬の減額改定があったものの託児福祉会全体としては、利用者の増等があり概ね昨年度並みの収益が確保でき、事業活動収支差額（減価償却前の収支差額）についても 26 年度と比べて 1% の減であるが 5642 万円、8% の収支差額となった。

地域密着型特別養護老人ホームおおはま荘の現状

特養おおはま荘の入所率は、26 年度 94.9% に比して 27 年度は 95.1%、0.2 ポイントの上昇、また、入所者の平均介護度も 26 年度 2.66 から 27 年度 3.21 と上がったことから介護保険事業収益が 800 万円ほど増加した。

ショートステイは 26 年度 5.23/日 から 6.28/日 と 1 日当り利用者が 1 名増加した結果介護保険事業収益としては約 600 万円の増となり、おおはま荘全体では 1400 万円の増収となり、事業活動収支差額（減価償却前の収支差額）は 26 年度△844 万円から 27 年度 279 万円と改善した。

今後もショートステイの利用率を高め、安定した経営状態になるよう努めたい。

給食の業務委託について

給食の業務委託については、27年4月から日清医療食品（株）と業務委託契約を締結し、8月から本格実施となった。

26年度は食費に関する収入は食費保険請求額、食費利用者負担額及びケアハウスの食費利用者負担額合わせて約8400万円に対し食材費及び人件費総額で約9915万円、差引△1515万円であった。27年度は食費収入約8800万円に対し費用は10,390万円で差引△1590万円である。食材費単価は1食あたり△92円となったが、人件費で1食あたり86円の増となっている。

今後は、たくま荘、おおはま荘において栄養マネジメント加算（140円/日）をいただくことで年間500万円ほどの収入増を図り、食事提供の赤字を埋める努力をしていく考えである。と同時に利用者の皆様に喜ばれる食事の内容充実を図っていきたい。

空調設備及びLED照明改修工事について

省エネ対策事業としてたくま荘、ケアハウスの空調設備の改修及び照明設備のLED化を実施すべく環境省の補助事業、二酸化炭素排出量大幅削減補助事業（ASSET事業）の申請をしたが、残念ながら採択にならなかったため27年度での事業化はみあわずことにした。

28年度でたくま荘デイサービスセンター及びケアハウスの空調設備及び照明設備について同事業での採択を目指し補助申請を予定している。

電動ベッドの購入について

たくま荘の手動式ベッド55台を電動ベッドに入れ替えた。

契約相手方	株式会社 日協堂医療器
契約年月日	平成27年度7月31日
契約金額	¥ 19,440,000（内消費税 ¥ 1,440,000）
商品名等	パラマウントベッド カリストエール55台 サイドレール、スイングアーム介助バー等

また、離床センサー付きのベッドと連動するナースコール設備を導入し転落事故の予防を図るとともに、少数の夜勤職員体制の折、職員がナースコールに即応できるPHS携帯電話を携帯することとした。

また、夜間職員が不在となるケアハウスのナースコールが特養たくま荘の職員側で受信できない状態を解消するため、同時にケアハウスのナースコール設備も新たにしました。

契約相手方	百十四リース株式会社	代表取締役	石川 浩
契約年月日	平成 27 年 9 月 8 日		
リース期間	60 カ月		
リース料	月 231,120 円 (内消費税 17,120 円)		
リース総額	¥ 13,867,200 (内消費税 ¥ 1,027,200)		

ケアハウスのスプリンクラー設備等整備について

地域介護・福祉空間整備推進交付金制度の適用を受けてケアハウスにスプリンクラー設備を設置した。

工事契約

契約相手方	株式会社 神詫組	代表取締役	詫間 正章
契約年月日	平成 27 年 10 月 30 日		
契約金額	¥ 39,309,840 (内消費税等 ¥ 2,911,840) (変更含む)		
工 期	平成 27 年 10 月 30 日～平成 28 年 3 月 8 日 (変更含む)		

設計・監理委託契約

契約相手方	斉藤建築設計事務所	斉藤 孝
契約年月日	平成 27 年 5 月 11 日	
契約金額	¥ 1,782,000 (内消費税等 ¥ 132,000)	

三豊市地域介護・福祉空間整備等施設整備事業補助金 ¥35,437,000

障害者の雇用について

障害者の雇用の促進等に関する法律の改正に伴い、法定雇用率 2.0%を達成するため 27 年 4 月から障害者 2 名 (自閉症及び知的障害者) を雇用した。法定雇用率は 5%となった。このことにより、特定求職者雇用開発助成金及び障害者職場支援奨励金を 18 カ月分いた

だくことになり、合計 306 万円の支給を受けることになった。

また、障害者雇用納付金として 27 年度分として 918,000 円の交付決定を受けた。

太陽光発電設備の設置について

電気料金の削減を図るため一般社団法人新エネルギー導入促進協議会の独立型再生可能エネルギー発電システム等対策費事業の適用を受けて、たくま荘の屋上に太陽光発電設備を設置した。

契約相手方 株式会社吉田石油店 代表取締役 眞鍋 和典

契約年月日 平成 27 年 10 月 1 日

契約金額 ￥ 11,500,000 (内消費税等 ￥ 851,852)

工 期 平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日

補助金額 ￥ 3,040,000

これにより特別養護老人ホームたくま荘の使用電力の 6.6%をまかなう予定である。

介護職員の能力向上について

職員の資質および能力の向上のために、月 1 回外部講師を招き施設内研修を実施した。